

地域コミュニティの再生に係るこれまでの議論の整理(案)

県民生活をめぐる課題と地域に求められる役割

県民生活をめぐる課題は複雑・多様化
身近な地域コミュニティの役割に期待

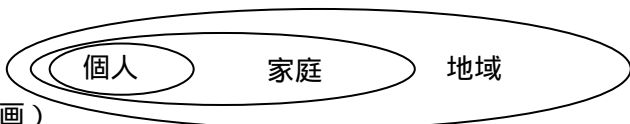
<背景>

課題の高度化、複雑・多様化、市町合併、地域の活力低下、コミュニティの重要性の再認識、ボランティア活動、新しい公-参画協働への取組展開

(例) 悪質商法被害、通学中子どもが犠牲になる犯罪、災害時の助け合い、子育て家庭の孤立、青少年育成環境、生活習慣改善・健康づくり、ゴミ問題、緑の確保、地球に配慮した行動推進、高齢者見守り等

身近な地域で、住民が参画し、話し合い、地域課題解決に向けて協働していくしくみが必要

地域社会の一員としての個人・家庭
(できることから参画)



地域社会の実情と潜在力

<実情>

- 1 地域コミュニティへの住民意識・関心の低下
- 2 地域コミュニティを支える人材の不足
- 3 地域コミュニティに期待される活動領域の拡大
- 4 多様な主体の連携不足
- 5 地域の組織運営基盤の脆弱化

<潜在力>

地域コミュニティは多重化・重層化しており、大小・距離にかかわらず、共感で結ばれているコミュニティも活発化している
(元々、日本の地域ネットワークも共感でつながる関係があった)

地域の中に存在する人材、資源は存在する、これを掘り起こし、つないでいく(再ネットワークの)視点が重要

2007年から順次定年を迎える団塊世代のパワーや経験を生かして、地域づくり活動に取り組める環境づくりも重要

地域コミュニティ支援のあり方(中間支援組織・県・市町への提案)

地域の力を引き出すための支援を展開する

主体性、創造性が生きる支援 誘導・温情主義(パターンリズム)から、活動する力をつけることへの支援(エンパワーメント)へ

県施策のあり方も転換、再編していくことが必要

1 持続的な地域自治組織づくりへの支援

地域の創意工夫が活きる支援を展開

- ・地域が創意工夫のもと施策を組み合わせるよう、関連施策を見直し・再編し、わかりやすく情報提供(包括補助化も検討)

コーディネート機能の強化・養成

- ・職員は、地域の多様な主体とのネットワークを広げる
- ・各種行政機関との協働や支援施策の有効活用を推進する
- ・地域に応じた協働のデザインを提案し、多様な主体をつなぐ等

2 人材発掘・養成の取り組みを展開する

きっかけづくり・理念の普及

- ・プロセス重視、ワークショップ、フォーラム等の展開

地域をフィールドとした主体的な学びを支援

- ・専門家派遣制度(コミュニティ応援隊)等の一層の活用
- ・大学・専門家との連携推進

行政職員のスキルアップ

- ・ネットワークやコーディネートのスキル
- ・地域の現場との接点を持ち続ける、地域担当制も検討等

3 工夫・ノウハウの提供

各地で創意工夫されている事例や人材を紹介

- ・地域が創意工夫のもと施策を組み合わせるよう、関連施策を再編し、わかりやすく情報提供する(ガイドブック、活動相談)

4 地域内での情報メディアづくり支援

インターネット(SNS等)や紙媒体による情報発信機会の提供

- ・各種媒体を提供し情報収集発信支援、協働事業の企画実施等

5 県と市の新しい関係をつくっていく

- ・地域が選択し活用できる支援施策の重層的な充実を図りながら、県の事業と市の事業を一体的に展開(市町は、県施策を、各市町の地域づくり推進施策に組み込む)

- ・県と市町は施策形成段階から十分議論をする

- ・県は理念の形成・共有・普及に一層注力していく等

課題解決型地域コミュニティづくり(地域への提案)

様々な地域課題を自ら考え協働していく地域自治組織をつくる

「地域への愛着と誇り」と「システム思考」の両面を兼ね備えた地域自治の「場」

地域への愛着と誇りから絆を紡ぎ出す

課題を共有

地域の課題を提起し合う

生活や地域の悩み等について気軽に話し合い、問題意識を共有する

宝物を共有

地域資源を見つけ、教え合う

人材、団体、自然、歴史、祭り、食文化・特産物、施設・場所、等教え合いお互いに役立てていく

関係を共有

タテ・ヨコの人間関係づくり

異世代交流の機会づくり、青少年の役割創出、学校やPTA等を通じた展開、テーマ型グループの参画促進

夢を共有

地域の将来像を話し合う

将来どのような地域をつくっていきたいか、みんなで話し合い、共感の輪を広げ、地域自身の考えに育てていく

拠点・情報・ネットワークを豊かにする

拠点

地域の中の拠点の機能強化

地域内の交流 参画・協働のしくみづくり 地域自治を促進する機能を持った場

情報

説明責任・双方向での情報共有

インターネット(SNS等)や情報紙ほか多様な手段を活用し、地域の課題や取組を発信

ネットワーク

地域団体の役割

相互の主体性を尊重しつつ連携、地域の行動力強化、団体から人材を派遣し地域の戦力に

専門家・NPO等への期待

地域内外の専門家を見つけ活躍の場を提供、広域的に活動するNPO等との連携も効果的

地域と大学・学校との連携

インターンシップ等により学生の参画推進、コミュニティをフィールドに協働研究・活動

地域と企業との連携

地域社会の一員としての企業の人的・物的資源を活かす

地域自治のしくみづくり

合意形成システム充実

地域特性に応じた合意形成のしくみづくり

各種団体を統合した組織や、連合組織、ゆるやかな連携による組織等多様、同種体の統合・再編も検討

機能的な組織づくり

合意形成を行う審議機関と執行機関を分ける例も見られる/役員の任期や公募制についても検討

人材・資源充実

地域の権限・財源についても検討

コミュニティビジネス、委託(施設の指定管理、事業の実施等) 寄附のしくみづくり

人材養成のしくみづくり

地域の特質や生活課題に根ざした活動から展開/青少年に責任と活躍の機会を与えるなど、活動の中で次代の担い手養成